

【2022年度子どもの未来アクションフォーラム】

開催日時：2023年3月7日(火) 13:00~16:00



■ZOOMウェビナー■無料■子どもの貧困問題について関心のある方

(第1部)

- 2022年度子どもの未来アクション活動報告
- 基調講演：「こども家庭庁、こどもまんなか社会の実現にむけて」
- 深堀トピックス：「こどもの権利、こどものアドボカシー」について
- 深堀トピックス：「ヤングケアラー」について

(第2部)

- 子どもの未来アクションの学習テキストの改訂のお知らせ **NEW**
- トークセッション：「どのように活動の一步を踏み出せばいいか」

お申込みはコチラ
(2/28締め切り)

第1部 登壇者プロフィール紹介



辻 由起子 氏

(内閣官房「こども政策の推進に係る有識者会議」
臨時構成員、内閣官房こども政策参与)

大阪府茨木市生まれ。18歳で結婚、19歳で出産、23歳でシングルマザーとして仕事・家事・育児・学業をこなしながら通信制大学を2回卒業。リスクだらけの子育て経験と、小・中学校の相談員の経験から全ての人が子育てを楽しめる社会を目指して現在活動中。

2021年9月から内閣官房「こども政策の推進に係る有識者会議」臨時構成員、2022年4月から内閣官房こども政策参与として様々な場所で政策提言を行う。その他各種団体の理事・顧問も務める。社会福祉士・保育士。

第1部は、
こども真ん中社会の実現にむけて
現状と課題を学んでいくよ!



持田 恭子 氏

(一般社団法人
ケアラーアクションネットワーク
協会代表理事)



東京都生まれ。自身も幼い頃から家族のケアをしてきた元ヤングケアラー。1996年に「ダウン症児者の兄弟姉妹ネットワーク」を開設し全国80名以上のきょうだい会員と交流を行う。2003年、父を看取り、母の在宅介護とダウン症のある兄のケアを仕事と両立。“家族だけでケアを抱えずに、自由に人生の選択ができる社会になること”を願い、2013年「ケアラーアクションネットワーク」を立ち上げる。家族だけでケアを抱え込まなくてもいい社会を目指し、ケアラー支援の必要性を伝え続ける活動を広く展開中。



小河 光治 氏

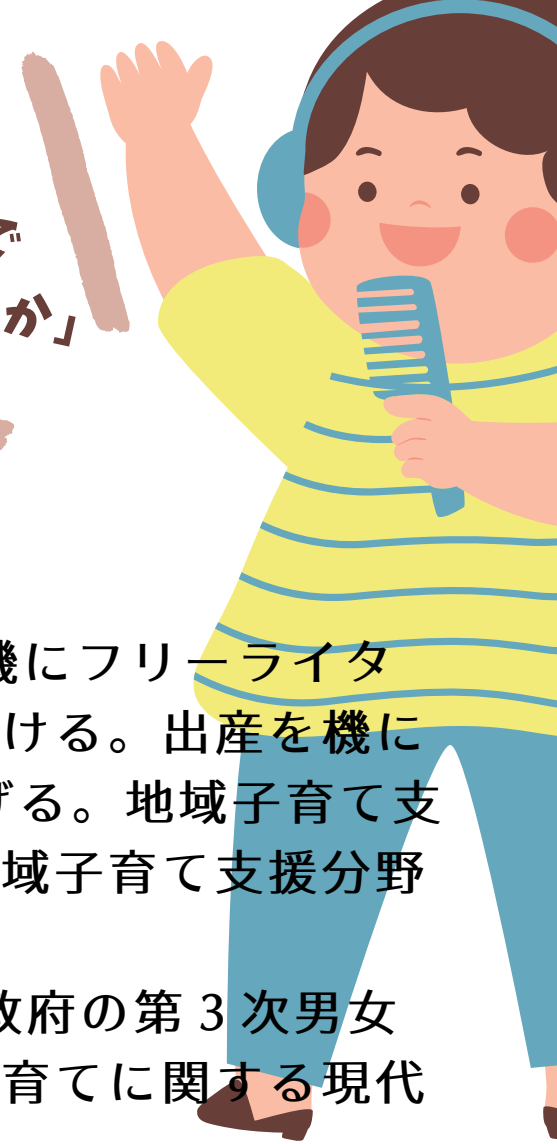
(公益財団法人あすのば代表理事)



愛知県小牧市生まれ。交通事故で父を亡くし、交通遺児育英会奨学金で高校・大学へ進学。あしなが育英会に26年間勤務し、阪神・淡路大震災遺児の心のケアのための神戸レインボーハウス館長、子どもの貧困担当などを歴任。福島大学大学院地域政策科学研究科修了。子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」を設立し、2016年「公益財団法人あすのば」に移行し、代表理事として現在活動中。

第2部 登壇者プロフィール紹介

第2部はトークセッションで「どうやってアクションしていくか」を話し合っていくよ。



ファシリテーター

坂本 純子 氏

(NPO法人新座子育てネットワーク代表理事)

大阪府大阪市生まれ。大学卒業後、広告制作会社に勤務し、結婚を機にフリーライターとなり「サンデー毎日」等で著名人・経済人・企業取材を主に手がける。出産を機に子育て環境を考え始め、1999年に新座子育てネットワークを立ち上げる。地域子育て支援拠点や児童センターを運営するほか、全国組織の設立に貢献し、地域子育て支援分野の構築に関わる。

2004年から日本の父親支援分野を先駆的に研究、開発、実践し、政府の第3次男女共同参画基本計画策定に専門委員として関わり、実践から研究まで子育てに関する現代的課題に全国的に取り組む。



こども食堂、フードドライブ、里親についてお話ししようね！

パネリスト(子どもの未来アンバサダー)

峰 亜弓 氏

(長崎村 代表)

2020年に子どもの不登校がきっかけでチャイルドカウンセラーを取得。2021年から子どもの未来アクションアンバサダー登録。

2021年3月非営利任意団体長崎村として「こども食堂こあじろ」を立ち上げ。長崎市の委託事業として「こどもクラブこあじろ」開設。小学校の放課後見守りや不登校クラスの生徒支援を実施。2022年から自然環境が豊かな地域にこどもの居場所「森と海とこどもの家」を設立。対面のコミュニケーションを重視したこどもの居場所を作ることを目指し、地域とつながりながら活動を展開中。



笠井 常子 氏

(いばらきコープ 全体区分理事)

2008年～ いばらきコープエリア委員 (現在ブロック委員)

2014年～ いばらきコープ地域区分組合員理事

2018年～ いばらきコープ全体区分組合員理事

2020年～ いばらきコープの福祉関連の活動に関わる。子どもの未来アクションアンバサダー登録。



牧野 博子 氏

(NPO法人里親子支援機関 えがお 理事長)

2019年10月4日(里親の日)に、里親はもとより、里子と養子を含めた子どもたちのために、里親が自ら運営する「NPO法人里親子支援機関 えがお」を設立。2021年から子どもの未来アクションアンバサダー登録。社会的養護下を巣立った若者の活動支援をしている。1996年里親登録。養子の息子を含め、これまで11名のこどもの養育に携る。



【2022年度子どもの未来アクションフォーラム】

開催日時：2023年3月7日(火) 13:00~16:00

■ZOOMウェビナー■無料■子どもの貧困問題について関心のある方

お申込みはコチラ

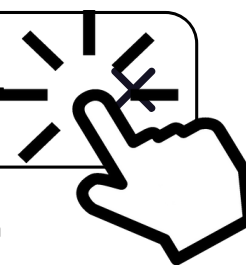


(2/28締め切り)

あなたも、子どもの未来アンバサダーになりませんか？
(無料で学習ツールや情報のご案内ができます。)



子どもの未来アクション アンバサダー



ご登録 お待ちしております



日本生活協同組合連合会
子どもの未来アクション事務局
TEL: 03-5778-8135

<https://miriaction.org/ambassador.html>
メール: miriaction@jccu.coop

